診療用高エネルギー放射線発生装置に関する概要書

１　診療用高エネルギー放射線発生装置に関する事項

|  |  |
| --- | --- |
| 製作者名 |  |
| 型式 |  |
| 台数（総台数） | 台（計　　　　　台）　 |
| 定格出力 | エックス線 | 最大エネルギー　　　　　　　　　　 （MeV） |
| 電子線 | 最大エネルギー　　　　　　　　　　 （MeV） |
| 設置型 | □据置型　　　　　　□移動型 |
| 使用場所 | □診療用高エネルギー放射線発生装置使用室□手術室 |

２　診療用高エネルギー放射線発生装置の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 発生管容器からの漏えい放射線量が利用線すいの放射線の放射線量の１/1000以下になる構造 | 有　・　無 |
| 照射終了直後の不必要な放射線からの被ばくを低減する防護装置 | 有　・　無 |
| 放射線発生時の自動表示装置 | 有　・　無 |
| インターロック | 有　・　無 |
| 移動型装置の保管条件 | 保管場所 | □管理区域内（室　名：　　　　　）□管理区域外（室名等：　　　　　） |
| 保管場所の施錠 | 有　・　無 |

３　診療用高エネルギー放射線発生装置使用室の放射線障害の防止に関する構造設備の概要

|  |  |
| --- | --- |
| 使用室名 |  |
|  | 天井 | （厚さ　　　　　） |
| しゃへい物等の材質及び厚さ | 床 | （厚さ　　　　　） |
| 周囲のしゃへい物（壁等） | （厚さ　　　　　） |
|  | 出入口の扉 | （厚さ　　　　　） |
| 人が常時立ち入る場所における実効線量を１mSv/週以下とする防護措置 | 有　・　無 |
| 出入口の放射線発生時の自動表示装置 | 有　・　無 |
| 遠隔操作構造 | 有　・　無 |
| 使用室である旨を示す標識 | 有　・　無 |
| 放射線障害防止に必要な注意事項の掲示 | 有　・　無 |

４　その他の放射線障害の防止に関する予防措置の概要

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 実効線量を1.3mSv/３月以下とする防護措置 | 有　・　無 |
| 管理区域境界 | 管理区域である旨を示す標識 | 有　・　無 |
|  | 管理区域への立入制限措置 | 有　・　無 |
| 居住区域及び敷地境界の実効線量を250μSv/３月以下とする防護措置 | 有　・　無 |
| 放射線診療従事者等の防護措置（放射線防護用具等） | □防護衣□防護衝立□防護スクリーン□その他（　　　　　　　　　） |
| 放射線診療従事者等の被ばく線量の測定方法 | □光刺激蛍光線量計□蛍光ガラス線量計□電子ポケット線量計□熱蛍光線量計□その他（　　　　　　　　　） |

５　診療用高エネルギー放射線発生装置を使用する獣医師の氏名及び放射線診療に関する経歴

|  |  |
| --- | --- |
| 氏名 | 放射線診療に関する経歴（従事年数、研修受講状況等） |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

６　放射性同位元素等の規制に関する法律第９条第２項第１号の許可の年月日及び許可の番号並びに同法第34条第１項の規定により選任された放射線取扱主任者の氏名

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 許可年月日 | 許可番号 | 放射線取扱主任者氏名 |
|  |  |  |

注意事項

１　診療用高エネルギー放射線発生装置を使用する獣医師の氏名欄には、使用する全員の氏名を記入すること。

２　隣接室名、上階及び下階の室名、周囲の状況並びに管理区域の標識の位置を明記した診療用高エネルギー放射線発生装置使用室等の平面図及び縦断面図を添付すること（診療用高エネルギー放射線発生装置使用室等の図面は、装置の位置、装置から天井、床及び周囲のしゃへい物等の外側までの距離、しゃへい物等の材質及び厚さ並びに縮尺を記入した縮図とすること。）。

３　診療用高エネルギー放射線発生装置使用室等と居住区域及び敷地境界の関係が分かる図面を添付すること（図面は、装置のアイソセンターからの距離、縮尺及び方位を記入した縮図とすること。）。

４　移動型診療用高エネルギー放射線発生装置の場合は、保管場所を明記した図面を添付すること。

５　診療用高エネルギー放射線発生装置使用室等の構造設備が法令の基準に適合することを示す計算書を添付すること。